

平成 30 年 5 月 9 日

文化庁 国立近現代建築資料館
平成 30 年度 収蔵品展「建築からまちへ 1945－1970
戦後の都市へのまなざし」の開催について

この度、文化庁国立近現代建築資料館では、平成 30 年度収蔵品展「建築からまちへ 1945－1970 戦後の都市へのまなざし」を開催する運びとなりました。

今回の展示では、当館が収蔵している坂倉準三、吉阪隆正＋U 研究室、大高正人などの建築資料群から、これまでの展覧会では十分に紹介できなかった彼らの思い描く〈まち〉や〈都市〉に関連する資料を展示します。さらに、修復が完了した池辺陽の「渋谷区復興計画案」の全容も紹介いたします。（別添資料）

【開催概要】

- ・ 名 称：平成 30 年度 収蔵品展「建築からまちへ 1945－1970 戦後の都市へのまなざし」
- ・ 会 期：平成 30 年 6 月 9 日（土）～平成 30 年 9 月 9 日（日）（会期中無休）
- ・ 会 場：文化庁国立近現代建築資料館
（東京都文京区湯島 4－6－15 湯島地方合同庁舎内）
- ・ 開館時間：10：00～16：30
- ・ 主 催：文化庁
- ・ 協 力：公益財団法人東京都公園協会
- ・ Web サイト：<http://nama.bunka.go.jp>

＜ 担 当 ＞ 文化庁長官官房政策課
課長 杉浦 久弘（内線 2803）
課長補佐 武藤 高之（内線 2804）
電 話：03－5253－4111（代表）

＜問合せ先＞ 国立近現代建築資料館
係長 富田 祐子
電 話：03－3812－3401（資料館係直通）
E-mail：nama@mext.go.jp

平成30年度 収蔵品展

Collection Showcase 2018

建築からまちへ 1945-1970

From Architecture to Urbanism 1945-1970

戦後の都市へのまなざし

Perspectives on Urban Design in the Postwar Era



①大島町・元町復興計画 鳥瞰図 / 吉阪隆正 +U研究室

坂倉準三

渋谷計画
上野市全体計画
新宿計画

池辺陽

渋谷区復興計画案

大高正人

宇部レクリエーションセンター
上野計画
千葉文化の森
宇部市常盤公園
神戸須磨離宮公園現代彫刻展

吉阪隆正+U研究室

大島町・元町復興計画

戦後、建築家たちが思い描いた ^{アーバンイズム}〈まち〉や ^{アーバンデザイン}〈都市〉に関連する建築資料を紹介

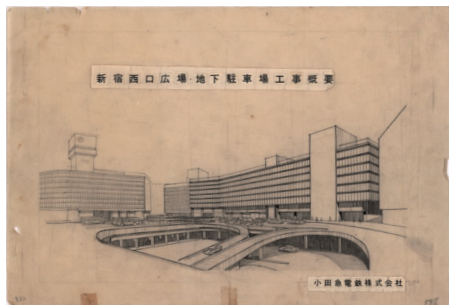
平成30年度収蔵品展は、1945-1970年という戦後復興・高度経済成長の時代を広い意味で〈戦後〉として捉えて企画いたしました。この時代は、往々にして効率重視の、急激な近代化・都市化・工業化・機械化の動きが注目されがちです。しかし、〈戦後〉に活躍した建築家たちの活動の中には、21世紀の今、私たちが真剣に求めている豊かな ^{アーバンイズム}〈まち〉の再構築、それを支える ^{アーバンデザイン}〈都市へのまなざし〉の萌芽的な例が、すでに多様なかたちで見いだされます。

今回の展示では、当館が収蔵している坂倉準三、吉阪隆正+U研究室、大高正人などの建築資料群から、整理・分析により見えてきた、これまでの展覧会では十分に紹介できなかった彼らが思い描いた ^{アーバンイズム}〈まち〉や ^{アーバンデザイン}〈都市〉に関連する資料を展示します。さらに、修復が完了した池辺陽の「渋谷区復興計画案」の全容も紹介いたします。

本展のみどころ

◆ 坂倉準三

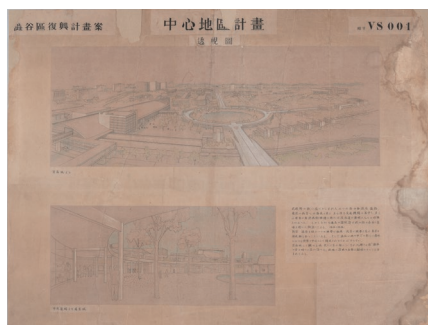
現在の東京にも残る〈都市建築〉に関する資料を展示



②新宿西口広場および地下駐車場 透視図

◆ 池辺陽

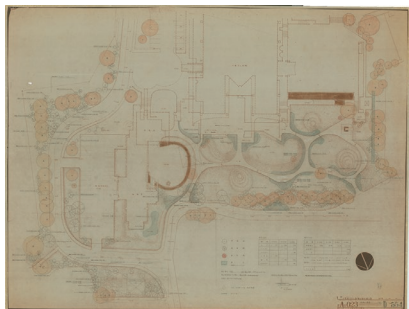
終戦直後の渋谷に構想された「渋谷区復興計画案」全9点を展示



③渋谷区復興計画案 中心地区計画

◆ 大高正人

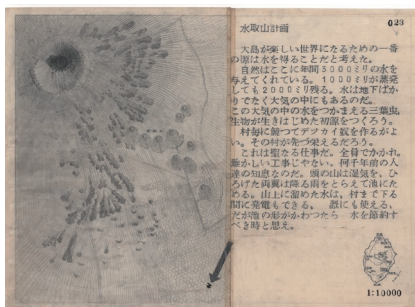
都市と建築をむすぶ屋外空間のデザインを紹介



④千葉文化の森 植樹工事図

◆ 吉阪隆正 +U研究室

東京都大島町の大火を受けて提案された災害復興計画の全容を紹介



⑤大島町・元町復興計画 水取山計画

総合監修

川向正人

(当館主任建築資料調査官, 東京理科大学名誉教授)

展示構成協力者(敬称略, 50音順)

齊藤祐子(建築家, サイト一級建築士事務所代表)

中島直人(東京大学准教授)

難波和彦(当館主任建築資料調査官, 東京大学名誉教授)

山名善之(東京理科大学教授)

関連イベント

会期中に資料館2階ロビーにて計4回のギャラリートークを行います。

(モデレーター: 川向正人)

※出演者は都合により変更する場合があります。

1. 「池辺陽に〈都市へのまなざし〉はあったのだろうか？」

2018年6月30日(土) 14:00 ~

難波和彦 × 石樽督和(東京理科大学助教)

2. 「坂倉準三: ユルバニスム—都市建築, シビックセンター」

2018年7月14日(土) 14:00 ~

山名善之

3. 「大高正人: 都市・建築・彫刻—その媒質としての屋外空間のデザイン」

2018年8月4日(土) 14:00 ~

中島直人

4. 「吉阪隆正+U研究室: 大島町・元町復興計画を動かした〈不連続統一〉と〈発見の方法〉」

2018年8月18日(土) 14:00 ~

齊藤祐子 × 内田文雄(山口大学教授)

広報用図版

図版①~⑤を広報用に提供いたします。ご希望の方は、使用条件をご確認の上、下記までお申し込みください。

Email: nama@mext.go.jp

【使用条件】

※広報用図版の掲載には各図版のキャプション、クレジットを必ず表示してください。
※情報確認のため、校正用原稿を事前にお送りください。

平成30年度 収蔵品展
Collection Showcase 2018

建築からまちへ 1945—1970

From Architecture to Urbanism 1945-1970

戦後の都市へのまなざし

Perspectives on Urban Design in the Postwar Era

坂倉準三

渋谷計画
上野市全体計画
新宿計画

池辺陽

渋谷区復興計画案

大高正人

宇部レクリエーションセンター
上野計画
千葉文化の森
宇部市常盤公園
神戸須磨離宮公園現代彫刻展

吉阪隆正+U研究室

大島町・元町復興計画

2018 6/9 SAT → 9/9 SUN

開館時間 10:00—16:30
Open hours

休館日: 会期中無休
Open throughout the exhibition period

主催: 文化庁／協力: 公益財団法人東京都公園協会／企画: 文化庁 国立近現代建築資料館／監修: 川向正人(当館主任建築資料調査官、東京理科大学名誉教授)
展示構成協力: 齊藤祐子(建築家、サイトー級建築士事務所代表) 中島直人(東京大学准教授) 難波和彦(当館主任建築資料調査官、東京大学名誉教授) 山名善之(東京理科大学教授)

Organized by the Agency for Cultural Affairs / Supported by the Tokyo Metropolitan Park Association /
Planned by the National Archives of Modern Architecture, Agency for Cultural Affairs / Supervised by KAWAMUKAI Masato /
Curatorial support by SAITO Yuko, NAKAJIMA Naoto, NAMBA Kazuhiko, YAMANA Yoshiyuki

文化庁 国立近現代建築資料館 〒113-8553 東京都文京区湯島4-6-15 湯島地方合同庁舎内 Tel: 03-3812-3401 Fax: 03-3812-3407 <http://nama.bunka.go.jp/>
National Archives of Modern Architecture, Agency for Cultural Affairs 4-6-15 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8553, Japan

文化庁

国立近現代建築資料館

National Archives of Modern Architecture, Agency for Cultural Affairs

平成30年度 収蔵品展
Collection Showcase 2018

建築からまちへ 1945-1970

From Architecture to Urbanism 1945-1970

戦後の都市へのまなざし

Perspectives on Urban Design in the Postwar Era

平成30年度収蔵品展は、1945-1970年という戦後復興・高度経済成長の時代を広い意味で〈戦後〉として捉えて企画いたしました。この時代は、往々にして効率重視の、急激な近代化・都市化・工業化・機械化の動きが注目されがちです。しかし、〈戦後〉に活躍した建築家たちの活動の中には、21世紀の今、私たちが真剣に求めている豊かな〈まち〉の再構築、それを支える〈都市〉へのまなざしの萌芽的な例が、すでに多様なかたちで見いだされます。

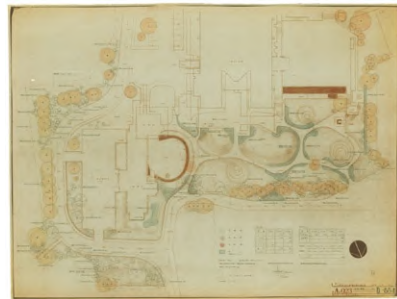
今回の展示では、当館が収蔵している坂倉準三、吉阪隆正+U研究室、大高正人などの建築資料群から、整理・分析により見えてきた、これまでの展覧会では十分に紹介できなかった彼らが思い描いた〈まち〉や〈都市〉に関連する資料を展示します。さらに、修復が完了した池辺陽の「渋谷区復興計画案」の全容も紹介いたします。

The Collection Showcase 2018 arises from a broad reading of Japan's period of postwar reconstruction and high economic growth from 1945 to 1970 as the "postwar era". Attention given to this period tends to be focused on the rapid progression of the efficiency-driven modernization, urbanization, industrialization, and mechanization that took place. However, if we turn our eyes to the work of architects who flourished in the postwar era, we find that there were already various early examples of "perspectives on urban design" that can support the reestablishment of the mature urbanism we are in earnest need of today in the 21st century.

This exhibition features a selection of archival items related to projects of urbanism and urban design envisaged by architects such as SAKAKURA Junzo, YOSIZAKA Takamasa + Atelier U, and OTAKA Masato that we have pieced together through organizing and analyzing materials we could not thoroughly present in our past shows. Also on view are the now restored materials illustrating the full scope of IKEBE Kiyoshi's Shibuya Ward Reconstruction Plan.



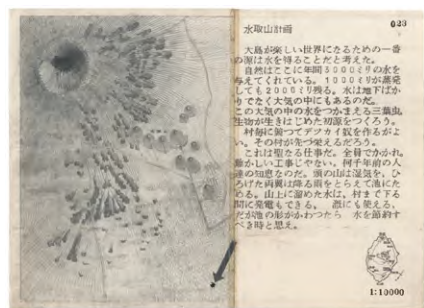
坂倉準三「新宿西口広場および地下駐車場」透視図、1964年頃
SAKAKURA Junzo: Shinjuku Station West Plaza and Underground Car Park; perspective drawing



大高正人「千葉文化の森」植樹工事図、1968年
OTAKA Masato: Chiba Forest of Culture; planting and earthwork plan



池辺陽「渋谷区復興計画案」中心地区計画一般計画図、1946年
IKEBE Kiyoshi: Shibuya Ward Reconstruction Plan; general plan for central district



吉阪隆正+U研究室「大島町・元町復興計画」水取山計画 鳥瞰図、1965年頃
YOSIZAKA Takamasa + Atelier U: Oshima Project; Mizutori-Yama Plan, bird's-eye view drawing

ギャラリートーク 資料館2階ロビーにて、会期中計4回のギャラリートークを開催いたします。モデレーター：川向正人

- 1 池辺陽には〈都市へのまなざし〉があったのだろうか？
6月30日(土) 14:00～
難波和彦×石樽督和(東京理科大学助教)
- 2 坂倉準三：ユルバニスム
—都市建築、シビックセンター—
7月14日(土) 14:00～
山名善之
- 3 大高正人：都市・建築・彫刻
—その媒質としての屋外空間のデザイン—
8月4日(土) 14:00～
中島直人
- 4 吉阪隆正+U研究室：大島町・元町復興計画を動かした〈不連続統一〉と〈発見的方法〉
8月18日(土) 14:00～
齊藤祐子×内田文雄(山口大学教授)

■出演者は都合により変更する場合がございます。
■イベントの詳細については、当館ホームページでご確認ください。http://nama.bunka.go.jp/

アクセス：千代田線「湯島駅」1番出口より徒歩8分
Access: 8-min. walk from Exit 1 of Yushima Station (Tokyo Metro Chiyoda Line)
入館方法：国立近現代建築資料館への入場方法は2つあります。
Entry: There are two ways to enter the National Archives of Modern Architecture.

A 展覧会のみ観覧(平日のみ利用可)
湯島地方合同庁舎正門よりご入館ください。
入館料無料。都立旧岩崎庭園には入場できません。
A. To view the exhibition only (open on weekdays only)
Please enter from the main gate of the Yushima Local Common Government Offices. Admission is free.
Visitors are not allowed entry into the Tokyo Metropolitan Kyu-Iwasaki-tei Garden.

B 都立旧岩崎庭園と同時観覧
都立旧岩崎庭園よりご入館ください。
旧岩崎庭園入園料(一般400円)が必要となります。
B. To view both the exhibition and Kyu-Iwasaki-tei Gardens The National Archives of Modern Architecture may be entered from the Kyu-Iwasaki-tei Gardens. (admission 400 yen)

